



広報

1月号

にのみや

第301号 発行日 昭和63年1月1日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画室 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐくむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。

正月の遊び (切り絵)

玉中めぐみさん(二宮西中学校2年A組)の作品



新年の御慶

御慶(ぎよけい)——およろこび、お祝い



二宮町会議長
里山 馨



二宮町長
柳川 賢二

明けましておめでとうございませう
ご家族様おそろいで、よい年を
お迎えのこと、お祈り申し上げます
山は青き、水は清き、と
ふことのたのしみ、めでたき年を
昭和六十三年 元月
議長 議長 里山 馨

謹んで新春を
お慶び申し上げます
旧年中は、お世話になりました。
有難うございました。本年も何卒、
よろしくお願い申し上げます。
昭和六十三年 元月
二宮町長 柳川 賢二

二期基本計画まとまる

五年をかけて各事業を推進

六十三年度から五年間の町づくりについて、その基本方針となる第二次二宮町総合計画・後期基本計画がまとまり、十二月十日の町議会全員協議会に報告されました。「優れた都市機能と文化を備え、豊かな自然に恵まれた町」を実現するため、六十七年度までに町が行う主要施策と計画が盛り込まれたこの後期基本計画の内容を、紹介します。

現在、町の主な事業は「第二次二宮町総合計画（五十八年度～六十七年度）」に基づいて進められています。この総合計画は、町の今後のあるべき姿を明確化した「基本構想」と、目標の実現に向けて前後五年間の各部門ごとに重要な施策を示した「基本計画」そして財政面の実績づけのもとに三年間の計画を定めた「実施計画」で構成されています。

主な施策を紹介

後期基本計画は六つの章からできています。

- ①住みよい生活基盤づくり
- ②住みよい生活環境づくり
- ③産業の振興
- ④教育文化水準の向上
- ⑤健康で安らぎのあるまちづくり
- ⑥行政の合理化

町づくりをめぐって重要な施策が決められました。

住民の声を反映

この基本計画をつくるにあたって特に重要視したことは、最大限に住民の意見を取り入れて、町と住民の共同作品にすることです。

そのため、まず千人を対象に住民意識調査を行い（六十一～六十二年）、現在の生活利便度や、今後、町に力を入れて取り組んでほしいと思うことなどを調べました。

自然保護・公害防止

「豊かな自然に恵まれた住みよい町」を実現するには、自然環境との調和に配慮した土地利用をすることが大切です。その

を集めたのです（提言の一部は六十二年八月の広報で紹介）。これらの調査などを通して集められた貴重な意見や情報は、計画を作成するうえで非常に重要な判断材料として役立てられました。また、計画の原案は、みなさんの代表で組織されている「総合計画諮問委員会」や、「総合計画審議会」に検討をしていただき、神奈川県との協議

を最後に経て完成したのです。
実施計画を策定
現在、この基本計画を受けて厳しい財政事情のなかで、三年間に実施する事業の選択を行う作業を行っています。また、六十三年度予算の編成事務もあわせて進められ、必要な調査費や事業費の計上ははかれています。

ため、市街化区域での無秩序な開発行為を抑制し、良好な市街地づくりに誘導することが必要です。ワンルームマンションの規制なども昨年から行っていますが、今後、開発行為等に対して緑の協定を結ぶなど、緑化指導に努めます。



現在、駅北口にある臨時自転車駐車場。ここに地下一階、地上二階建の駐輪場を建設します。

また、市街化区域内の農地についても都市の緑地空間として保全に努めています。

社会福祉の充実

緑地は、吾妻山をはじめ山林、社寺林などが割合多くあり、町の風致や美観は保たれています。しかし、今後は緑のマスタープランを基本に、緑地保全のための具体的な方策を検討していきます。個々の緑を有機的に結びつける「緑のネットワークづくり」の構想などが挙がっています。

健康・医療の充実

健康については、六十二年三月に完成した保健センターをその拠点とし、一貫した保健サービス体制の充実を図ります。具体的には、理学療法士など専門スタッフの確保を行い、健康相談や入浴サービスなどの質的、量的な充実をします。

生活の多様化、余暇時間の増加などによって、精神的な豊かさや健康が損なわれています。ソ

一年のスタート

気分を新たに新しい年を迎えたこの日。みなさんは、今年のお正月をどのように過ごされますか。

一年のスタートを昔から町に伝えられてきた「しきたり」で過ごしてみませんか。

◎元旦・初日の出（一日）
いつもと同じ太陽がこの朝は特に新鮮に感じられます。一家の主は、隣近所や町内の親戚へ年始回りに出かけ、皆ほろ酔い気分です。子供は外でコマ回し、たこあげ、羽根つき遊び、夜になると友達の家でカルタ取りや双六などで楽しんでいます。元旦から三日間は「三が日」として、大人も子供も思い切り遊びます。

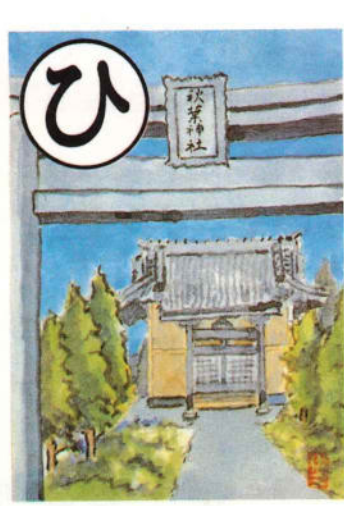
◎仕事始め（四日）
四日は気分一新、仕事始めです。農家は「うづい初め」と言って、畑に一畝を入れ、米をまき、お祭りをします。

◎七草粥（七日）
六日の夕方になると、「七草なすな」と唱えながら春の七草をたたき、それを入れた七草粥を七日の朝食べます。また、この日は松飾りを外すので、七日までを「松の内」と言います。

◎お歳取り（十三日）
米の粉で団子を作り、木の枝にさして神棚に飾ります。餅や芋などいろいろな形をつくりました。

◎さいとばらい（十四日）
町内の子供が家を回って松飾りを集め、道祖神の前で燃やします。前日に作った団子をこの火で焼き、それを食べる風習をひかず、また、書き初めを燃やし、紙が高く上がるほど、文字が上手になると言われています。

◎小豆粥（十五日）
この日を小正月とも言い、農家は小豆粥を食べました。ここで紹介したものは、ほんの一部です。いすれ忘れ去られてしまいかも知れませんが、これらはとても心暖まる習慣ではないでしょうか。



火の神は
秋葉の山の
御社

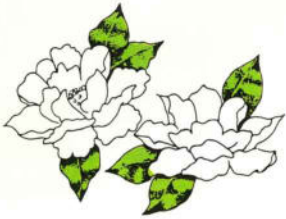
秋葉神社は火の神、
迎い士をまつつてい
る。

いろはに あはれ

元は五ヶ村
あわせて
中郡吾妻村

明治二十二年、一色・中里・二宮・山西・川向の五ヶ村が合併、吾妻村となった。





イラスト集から
「つばき」

くらしのしおり



内山信弘くん(二宮中)
の作品

お知らせ

◆物品の入札

町が発注する物品製造等の指名競争入札参加願いの受付を、次のとおり行います。

対象業種 文房具、印刷、薬品、車両、教材、事務用機械、原材料、金物・雑貨、その他
受付期間 2月15日～2月29日 持参に限る。
受付場所 総務課財務係
有効期限 63年4月1日～65年3月31日
提出書類 指定書類一式(有料、一部50円)が財務係に用意してあります。2月1日から配布開始。
問合せ 総務課財務係(内線314)まで

◆工業統計調査

製造業の事業所の通商産業省では、今年も工業統計調査を実施します。調査に際しては県知事が任命した調査員がお伺いし、また調査の内容は統計を作成する目的に使用され、(たとえ課税資料)に使用されることは絶対ありません。年始のご多忙の中、誠に申し訳ありませんが、調査にご協力をお願いいたします。

◆胃がん検診

とき 2月2日(火) 9時～11時30分
ところ 百合が丘老人憩の家
対象 40歳以上の町民
定員 70名
検診料 500円(70歳以上の方は無料)
申込み・問合せ 予約申し込み制。保健センター(電話7100)まで

◆消防出初式

新春恒例の出初式を、次により開催します。
みなさんおそろいで見学ください。

とき 1月7日(木) 10時～12時
ところ 山西小学校
内容 式典・表彰、まとい振り込み、一斉放水など
問合せ 消防署(電話7210015)まで

◆園芸講座と園芸相談

とき 1月17日(日) 10時～12時
ところ 県園芸試験場(二宮町二宮1-2-1)
内容 ①園芸講座(10時～12時) 家庭果樹の冬期間の管理について。実技は、せん定、接木など。
②園芸相談(11時～15時) 野菜果樹、花の栽培方法と病害虫、土、肥料について。
問合せ 県園芸試験場(電話1052)まで

催し

募集

◆広報モニター

町が発行する「広報にのみや」や、「お知らせ版」などに對する感想、意見をお聞きのため、広報モニターを募集します。

資格 20歳以上の二宮町民
任期 一年
募集期限 2月末まで
募集人員 10名
申込み・問合せ 企画室広報広聴係(内線325)まで

◆県政モニター

神奈川県では、県のことに対する意見や提案などをお聞きのため、県政モニターを募集しています。

資格 20歳以上の県民(ただし、県政モニター経験者および公務員などは除きます)。
募集期間 1月16日(土)～2月15日(月)
募集人員 150名
申込み 県庁、行政センター、役場企画室などに用意した申込用紙を提出してください。

明けておめでとう

二宮町広報編集委員会
会長 森 徳好
編集委員一同

今年は辰年

辰は十二支の中で唯一の空想の動物です。でも念のため、ある動物図鑑を見たら、辰は竜として載っていました。大蛇に角や猛獣、猛鳥の頭を組み合わせた伝説の動物とあります。



辰は十二支の仲間として、広く知られた存在なので、架空の動物の中でも別格なものでしょう。

龍の伝説は中国や日本だけでなく、同じようなものがヨーロッパやインドなどにも見られます。龍は日本では、水をつかさどる力を持つといわれています。

れ、龍神や竜王に雨乞いをする風習が各地にあります。また、龍は「とろろ」も「はは」は登場します。「龍の翼を得たことし」は、強いものがさらに強くなることす。龍のひげを蟻がねらう」は、身のほど知らずのたとえです。

さて、みなさんはこの新年をどんな決意で迎えるになりましたか。いずれにしても「竜頭蛇尾」に終わらないようにしたいものです。

案内

◆税金相談と説明会

今年も2月16日から所得税の確定申告が始まります。これについての説明会と相談が次のとおり開かれます。

①説明会(所得税、事業税、住民税の共同)
とき 2月4日(木)14時～16時30分
ところ 社会福祉センター
②無料相談
とき 2月16日(火)～2月19日(金) いずれも9時30分～12時と13時～15時30分
ところ 町役場第一会議室
問合せ 平塚税務署(電話221400)まで

◆国の進学ローン

国民金融公庫では、国の進学ローンとして、進学資金の融資を行っています。

対象 高等学校、短大、大学、大学院、専修学校の高等課程(修業年限が3年以上)または専門学校(同、2年以上)、盲学校・ろう学校の各高等部などに進学される方(または、その方の父母)
所得制限 年収60万円以内
融資額 50万円以内
貸付利率 年5.7%
返済方法 最長5年の毎月払いボーナス併用もできます。
申込み 4月30日まで。最寄りの金融機関へどうぞ

◆運転免許更新講習会

とき 1月18日(月) 18時～19時30分(受け付けは17時30分から)
ところ 社会福祉センター1大ホール
対象 免許の更新を4月17日まで迎える方
もちもの 運転免許証
問合せ 大磯地区交通安全協会(電話13350)まで

◆保育園の入園受付

今年4月1日から保育園に新たに(または、引き続き)入園を希望される方のため、次のとおり受付をします。
問合せ 住民福祉課児童老人係(内線325)まで

保育園	受付日	時間
二宮保育園	1月18日(月)	14:00～17:30
梅花保育園	1月19日(火)	"
二宮愛児園	1月20日(水)	"
みちが丘保育園	1月21日(木)	"
百合が丘保育園	1月22日(金)	"

編集室

この広報は、元旦の新聞に折り込んで配布しました。ご近所やお知り合いの方で、届いていない家庭がありましたら、企画室広報広聴係(内線325)までご連絡ください。

町の人口 (12月1日現在)

総数 28,983人 (+21)
男 14,263人 (+4)
女 14,720人 (+17)
世帯数 8,581世帯 (+3)
()内は前月との比較。人口総計から



町・県民税(第4期) 1月31日
国民健康保険税(第5期) 1月31日
国民年金保険料(1月分) 1月25日
納税は あすの暮しの 基礎づくり



写真を
差し上げます
本紙掲載写真に写っている方は、企画室広報広聴係(内線三三五)へご連絡ください。無料。